

地域・学校協議会の活動推進キャッチフレーズ

小浜市立口名田小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	2回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	6回(のべ) 6日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	17人
授業ボランティア(含:低ボラ)	0人
登下校支援ボランティア	38人
その他(読み聞かせボランティア)	6人

(3) 特色ある活動

テーマ「学力の向上と授業改善」

【具体的活動内容】

昨年度に引き続き、県のコア・ティーチャー養成事業の指定を受け、算数科を中心とした授業づくりに取り組んできた。昨年度は、「考えさせる授業づくり」をテーマに、自力解決、練り上げの時間を確保すると同時に、「発表のルール」を作成し、学年の発達段階に応じた言語活動が展開できるように工夫した。

今年度は、指導過程の「練り上げ」の前段階に、ペア学習、グループ学習を取り入れながら、新たに「言語活動のガイドライン」を作成して、児童の話す力を育てることを試みてきた。ペア学習やグループ学習では、自力解決の過程で得られた解決の方法を、友達と比べることによって、「みんな調べ」として集団での練り上げの充実を図った。

<ペア学習・ペア発表>

- 【期待される効果】① 分かっている子が多い時 → ますます、理解する子が増える
② 分かっている子が少ない時 → 質問が出始め、授業が活性化する

- 【指導過程】① 二人で一つのことについて、発表する

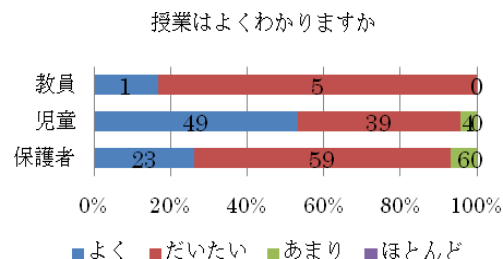
↓ [途中でストップをかけて、交代させる]

- ② もう一人の児童が、発表を続ける。(または、他のペアに発表を続けさせる)

- 【指導による利点】① ペアが真剣に相談する(隣の人の話を聞く。自分の意見を説明する。)

- ② 他のペアが、発表を真剣に聞く

- 【アンケート結果】学校評価アンケートで、普段の授業について、教師には授業力向上の取り組みを、児童および保護者には、授業の理解について尋ねた。90%以上の児童がよく、または、だいたいわかると答えている。



【成果と課題】

ペア学習、グループ学習を取り入れたことで、学び合う活動に深まりが見られるようになった。また学校評価のアンケート結果からは、児童に発表のルールの定着が見られた。そして、全国学力調査では、算数Bが県平均を上回ることができた。(算数Aは県平均と同じ)